

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-1	5-4-3	事業名	新たな秋のイベント事業		
担当	観光文化局観光コンベンション部観光企画課 阿部 TEL211-2376					
全 体 計 画						
事業内容	<p>札幌の観光におけるさらなる魅力づくりを目指し、大型のイベントが少ない秋の集客増を図るため、大通公園において新たな集客イベントを実施する。</p> <p>当イベントは、「食」をツールとして北海道・札幌の情報発信を行う。また、大人から子どもまでが楽しめる場の提供として、歌や踊りなどを交えた参加型事業などを検討し、新たな賑わいを創出していく。</p> <p>事業内容については、市民、関連団体、関連業種等から各種意見を聴取したものを基に素案を作成し、準備委員会組織や実行委員会を設立し、観光関連企業を含む多くの議論を重ね、検討していく。また、将来的な展開として、事業規模を拡大し、狸小路を含めた大通周辺商店街の協力を得ながら都心の賑わいを創出し、創成川等まで拡がりのある事業展開を目標とする。</p>		<p style="text-align: center;"><b>&lt;年度別の事業内容&gt;</b></p> <p>19年度……事業企画案策定 20年度……さっぽろオータムフェスト2008実施 21年度……さっぽろオータムフェスト2009実施 22年度…22年度まで、大通公園において、事業の充実及び拡大を目指す。</p>			
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)			
事業内容	<p>当事業の平成20年度実施に向け、事業企画案を策定した。策定にあたり、市民を始め、学生団体や観光関連団体など懇談会を実施し、市民意見や民間のノウハウを反映させたものとした。また、平成19年11月には、市内観光関連の各団体を中心とした100名規模のシンポジウムを開催し、策定した企画案を基に更なる意見交換を行い、企画の精度を向上させた。</p> <p>イベント実施を計画するにあたり、概要のPRやスポンサーの確保のため、セールスツールとなる概要カタログを作製した。</p> <p>平成19年10月には、当事業実施のための準備組織として「(仮称)さっぽろ秋まつり」準備委員会を立ち上げ、その組織をベースに平成20年3月には「さっぽろオータムフェスト」実行委員会を設置した。</p> <p>○「さっぽろ秋まつりシンポジウム」開催負担金 1,300千円 意見聴取の取組の一環として、観光関連事業者とのシンポジウムを開催した。新規イベントの検討をする中で、市内観光業界トップ出席による意見交換や、市長及び市幹部によるトップセールスの場として、協賛・スポンサーについて、個別に企業トップと会談し、協力要請を行う場とした。</p> <p>○「新たなる秋のイベント事業」企画書制作業務 1,155千円 協賛を依頼する企業や実行委員会への参加を依頼する企業、協力を依頼する団体等への説明(セールス)を目的とした企画書の作成。</p>					
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)			
規模・件数等	<p>《事業概要》 名称 さっぽろオータムフェスト2009 会場 大通公園4丁目～8丁目 日程 平成21年9月18日(金)～10月4日(日) 内容 「北海道・札幌の食」をテーマに、道内市町村や民間事業者と連携して、旬の食材やご当地グルメを一堂に取り揃え、大通公園にて初開催した。北海道全体の活性化に貢献することを目的とした当フェスティバルは、目標来場者数の80万人を上回る130万4千人の市民や観光客を集めた。</p> <p>《実行委員会事業費》 【収入】 負担金(札幌市)…30,000千円 負担金(市町村)…26,664千円 補助金(北海道)…10,000千円 その他協賛収入等(協賛企業等)…11,965千円 【支出】 実行委員会事務的経費…13,296千円 各会場運営経費…64,930千円 【繰越金】 403千円(決算報告書作成等に充てる)</p>					
規模・件数等	<p>《事業概要》 名称 さっぽろオータムフェスト2010 会場 大通公園4丁目～8丁目 日程 平成22年9月17日(金)～10月3日(日) 内容 さっぽろオータムフェスト2010は、大通公園の4～8丁目で開催し、111万5千人を集客した。また、大通公園以外でも円山地区、すすきの地区の飲食店をはじめ、ホテル、百貨店などの連携強化を図り、まち全体の賑わいを創出した。</p> <p>《実行委員会事業費》 【収入】 負担金(札幌市)…30,000千円 負担金(市町村)…27,189千円 補助金(北海道)…10,000千円 その他協賛収入等(協賛企業等)…10,640千円 【支出】 実行委員会事務的経費…12,841千円 各会場運営経費…64,772千円 【繰越金】 216千円(決算報告書作成等に充てる)</p>					

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-1	5-4-3		事業名	新たな秋のイベント事業				
達成目標の状況									
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)		
観客数		-	-	72万4千人	130万4千人	111万5千人	80万人		
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)									
<p>■市民との連携、市民参加 企画立案段階から、市民や学生及び観光関連団体である、旅客会社や旅行代理店、ホテル業界などとの懇談を実施し、当事業の核となるコンセプトについて、多くの意見聴取を行ってきた。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 各会場の管理運営を民間企業へ委託することにより、会場運営にあたり、民間事業者のノウハウを活かした事業展開が期待できる。また、運営費確保のためのスポンサー獲得など、運営経費確保のため協力を得ている。将来的に、本事業の拡大発展により、更なる事業内容の充実が図られることが期待できる。  [人材協力] 民間企業が管理運営にあたることにより、民間ノウハウを活用した優れた人材や技術が、活かされることが期待できる。  [情報協力] 観光関連団体である旅客会社や旅行代理店などの協力により、企画段階からの多くの意見、提案をいただいている。  [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>									
評価(成果)					課題				
<p>22年度で3回目の開催となり、2回目からは市民、観光客など100万人以上の来場があり、家族連れから年配の方まで幅広い年齢層に対して、北海道の様々なグルメを楽しめるイベントとして好評を博した。また、すすきの、円山などとの連携を図り、地元経済の活性化に貢献できた。</p>					<p>イベント知名度を高めるため告知・宣伝を強化したことから、目標来場者数を上回ることができたが、今後は首都圏をはじめ道外からの観光客の入込みを増やすことが必要である。  また、経済環境の急激な悪化等により、出展者の確保やスポンサーの獲得が難しく、事業費の確保も課題である。  開催時期は夕方以降に気温が低いこともあり、天候対策も必要となっている。</p>				
今後の事業の予定・方向									
<p>都心部全体の更なる賑わいの創出のため、23年から供用が開始された札幌駅前地下歩行空間、創成川広場などの活用を今後検討し、事業の魅力向上や地域経済の活性化を進める。また、まつりの魅力アップのため道内各地域との連携強化を図る。さらには、今後は旅行業界とも連携し、道外に対してのPR、プロモーション活動を積極的に実施し、一層の観光客の誘客を図る。</p>									

樣式 1

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

(単位:千円)